

## 2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	経営戦略研究科・教授
	氏名	前田 祐治
海外客員 教員	所属・職	経営戦略研究科・招聘A教授
	氏名	小田部 正明
招聘目的	①. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2023年11月30日 ~ 2024年 2月7日	
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。	<p>(1) 授業科目名 Advanced Topics in Business C Advanced Topics in Business F</p> <p>(2) 授業担当の成果</p> <p>●Advanced Topics in Business C 本授業の目的は、国際マーケティングに注目し、マーケティングマネジメントの原則に基づき、組織と国際市場において、市場ドリブンの意思決定プロセスを習得することであった。本授業を通して学生が習得できたのは、以下の点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略決定において、最初に市場に注目しなければならないこと。</li> <li>・市場始動のマーケティングにおいて、問題点は以下のとおりであり、それらを解決しなければならないこと。(1) 組織の中に共有のビジョンを形成すること。(2) 顧客に最高の価値を提供するための機会を見つけること。(3) 市場とマッチングするための最高の組織とブランドを形成し、ポジショニングすること。(4) 顧客、サプライヤー、サプライチャネルなどとパートナーを形成すること。</li> <li>・ブランディングにおける意思決定において、市場のグローバル化の進展、テクノロジーの変化、法的な問題等から受ける影響も考慮しなければならないこと。</li> <li>・ケース授業手法をとり、様々なビジネスの課題を検討・分析することにより、実践的のケースから学ぶことの重要性。</li> </ul> <p>●Advanced Topics in Business F 本授業の目的は、日本や中国、韓国のほか、台湾や香港、ASEAN諸国、インドといったアジア諸国のビジネスと経営の特徴について、マクロの視点で概観し批判的に考えることであった。本授業を通して学生は、1) アジア企業、特に日本、中国、韓国、インドの企業の競争力を分析し、2) アジア企業との競争と協力における課題と機会を検討し、3) アジア地域におけるビジネス慣行の主な相違点を把握することの3点を習得できた。</p> <p>本教授は米国のテンプル大学において長年グローバルマーケティングを研究していた先生で、その分野では、第一人者と評価を受けている。国際経営コースのマーケティング専攻の学生は、グローバルに展開されるマーケティング手法や理論に興味をもっているため、同教授から、最新の国際マーケティングの動向を聞くことは非常に有意義であった。また、少人数での授業であったので、ケース分析において学生と教授の間で活発な議論を行うことができたのは、学生にとって大変刺激的なものであった。授業の評価も高かった。</p>	
1. 授業担当及び研究 (1) 授業科目名 (2) 授業担当の成果 (3) 研究の内容 (4) 研究の成果		
2. 共同研究 (1) 共同研究の内容 (2) 共同研究の成果		
3. 特別枠 (1) 活動内容 (2) 成果		

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

\* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます